

2009年5月29日
イオン株式会社

イオンの環境月間の取り組みについて

イオンでは、6月の環境月間にあたり、お客さまとともに行う環境保全活動や店舗での取り組みをさらに強化してまいりますのでご案内を申し上げます。

イオンでは、6月1日(月)より全国のジャスコやサティ、マックスバリュ、イオンスーパーセンターなどグループ14社、約1,100店舗でお買い物を通じCO₂削減へ貢献できるカーボンオフセットキャンペーンをお客さま、お取引先さまとともに取り組んでまいります。この取り組みは、インドで行われるバイオマス発電プロジェクトの排出権購入を通じて、対象商品が販売や輸送時に排出するCO₂の一部をオフセットし、政府に無償譲渡するものです。キャンペーンの対象商品は、お菓子や調味料、お酒、シャンプー、リンスなど、毎日の生活に必要な食料品や日用雑貨など暮らしの品々まで約40品目の商品をご提案いたします。

また、全国のイオングループ約3,000店舗では、6月21日(日)と7月7日(火)環境省が呼びかける地球温暖化防止のためのCO₂削減/ライトダウンキャンペーンに参加し、看板や施設の一部のライトダウンを実施するとともに、お客さま、従業員の家庭においてもライトダウンの呼びかけをいたします。

これまでもイオンでは、1991年よりお客さまとともに「買物袋持参運動」に取り組み、2007年から「レジ袋無料配布中止」をスタートし、昨年グループ447店舗にまで拡がり、お客さまのご協力のおかげで、7億6,000万枚を超えるレジ袋を削減できました。環境月間である6月には70店舗を超える店舗で新たに「レジ袋無料配布中止」を実施し、640店舗にまで拡がります。今後も、2012年までにレジ袋無料配布中止店舗を全国1,000店舗、全店でのレジ袋平均辞退率80%を目標に取り組んでまいります。

イオンは、これからも「日々お客さまと接することができる」という小売業としての特性を活かし、商品、店舗を通じてお客さまとともに取り組む環境保全活動をさらに推進してまいります。